

2. 火山の概況

(平成17年5月12日～平成17年5月18日)

雌阿寒岳、十勝岳及び樽前山では、噴煙の状況に変化はなく、火口の高温状態が続いていると推定される。

草津白根山では12日に地震がやや多く発生した。火山活動度レベルは1（以下レベルと記載）。

浅間山では噴煙活動が継続し、微弱な火映がほぼ連日観測された。レベルは3。

三宅島では18日にごく小規模な噴火が発生した。多量の火山ガスの放出は依然継続している。

福徳岡ノ場では変色水が確認された。

阿蘇山では、13日にレベルを3から2に変更した。火口内の熱的な活動のやや活発な状態は続いている。

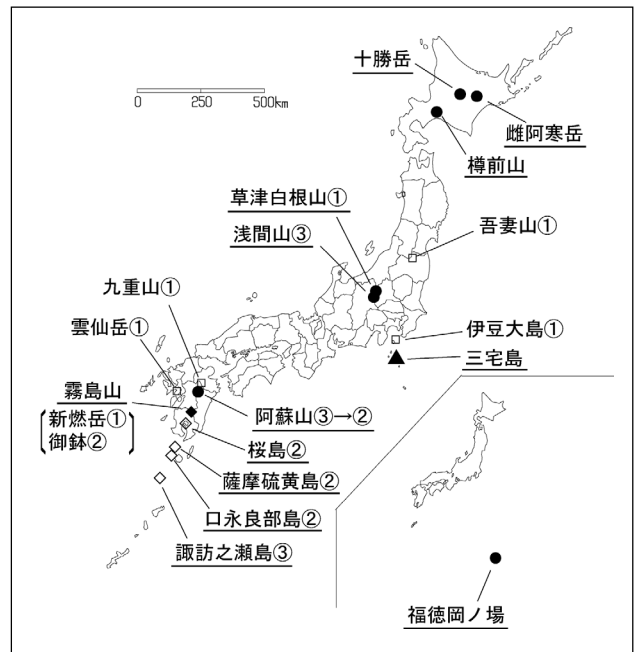


図1 各火山の今期間の火山活動度レベル及び記事を掲載した火山（火山名に下線）

号	対象期間	雌阿寒岳	十勝岳	樽前山	草津白根山	浅間山	三宅島	福徳岡ノ場	阿蘇山	霧島山	桜島	薩摩硫黄島	口永良部島	諏訪之瀬島	硫黄島
20	5/12-5/18	●	●	●	●	●	▲	●	●	◆	◇	◇	◇	◇	
19	5/5-5/11	●	●	●	●	●	●	●	●	◇	◇	◇	◆	◆	
18	4/28-5/4	●	●	●	●	●	●	●	●	◇	◇	◇	▲	▲	
17	4/21-4/27	●	●	●	●	●	●	●	●	◇	◇	◇	▲	▲	●
16	4/14-4/20	●	●	●	●	●	●	▲	◆	◇	◇	◇	◆	◆	

号	吾妻山	草津白根山	浅間山	伊豆大島	九重山	阿蘇山	雲仙岳	霧島山(新燃岳)	霧島山(御鉢)	桜島	薩摩硫黄島	口永良部島	諏訪之瀬島
20	①	①	③	①	①	③→②	①	①	②	②	②	②	③
19	①	①	③	①	①	③	①	①	②	②	②	②	③
18	①	①	③	①	①	③	①	①	②	②	②	②	③
17	①	①	③	①	①	③	①	①	②	②	②	②	③
16	①	①	③	①	①	②→③	①	①	②	②	②	②	③

表1 最近1か月に記事を掲載した火山（左）及び各火山のレベル（右）

注1 記号の意味

- ▲：噴火した火山 ●：活動が活発な状態にあるか、もしくは観測データ等に変化があった火山
- ◆：前期間まで▲や●で掲載し、その後の状況等を掲載した火山 ◇：その他記事を掲載した火山
- ：記事を掲載していないレベル対象火山 ①②等の丸付き数字：火山活動度レベル

注2 記事は、▲、●及び◆（注1参照）に該当する火山及びレベル2以上の火山について掲載する。その他の火山については、特記事項のある場合に掲載する。

注3 本文の火山名の後ろの[噴煙・噴気・地震・微動・空振・地殻変動・熱・火山ガス等]は、変化があった観測データ項目を示す。

● 雌阿寒岳 [熱]

ポンマチネシリ 96-1 火口の噴煙の状況に変化はなく、高温の状態が続いていると推定される。

● 十勝岳 [噴煙・熱]

62-2 火口の噴煙活動は活発な状態が続いており、高温の状態が続いていると推定される。遠望カメラによる噴煙の高さは火口縁上おおむね 200mで推移した。

● 樽前山 [熱]

A火口及びB噴気孔群の噴煙の状況に変化はなく、高温の状態が続いていると推定される。

● 草津白根山 [地震] レベル1 (静穏な火山活動) <期間外の記述を含む>

11日20時(期間外)から12日03時にかけて、規模の小さな火山性地震がややまとまって発生した。1日あたりの回数は11日15回、12日7回だった。その後、地震活動は落ち着いた。噴煙や地殻変動の観測データには特段の変化はみられなかった。

● 浅間山 [噴煙・火映・微動・地震] レベル3 (山頂火口で小～中噴火の可能性)

今期間、噴火は観測されなかった。

山頂火口からは白色噴煙が連続して噴出しており、最高で火口縁上約300mまで上がった。また、微弱な火映が15日を除く毎日、山麓の高感度カメラ¹⁾で観測された。

期間中の火山性地震及び微動の回数はやや多い状態が続いており、それぞれ1日当たり37～68回、0～5回だった。

1) 気象庁及び国土交通省関東地方整備局利根川水系砂防事務所が山麓に設置

▲ 三宅島 [噴火・降灰・噴煙・地震・空振・火山ガス]

18日にごく小規模な噴火が発生した(噴火は4月12日以来)。18日午前に行った現地調査で、山頂火口の北～北北東側約4km(神着地区)の狭い範囲でごく微量の火山灰が確認された。噴火時刻は、空振を伴う振幅のやや大きな低周波地震が観測された02時41分頃と推定されるが、その当時の噴煙は白色で高さは火口縁上200m、噴煙量に特段の増加は見られなかった。

17日に上空から行った観測²⁾では、火口内の状況は天候不良のため確認できなかった。火山ガス観測では、二酸化硫黄の放出量は日量2,500～3,700トンで、前回(4月5日3,300～6,900トン)に比べるとやや減少したものの、依然として多量の火山ガス放出が継続している。なお、三宅村の火山ガス濃度観測でも、山麓でたびたび高濃度の二酸化硫黄が観測されている。

期間中の火山性地震の回数は少なく、1日当たり1～25回であった。山頂火口からは白色噴煙が連続して噴出しており、最高で火口縁上約600mまで上がった。

2) 航空自衛隊の協力による

● 福德岡ノ場 [変色水]

海上自衛隊が18日に行った上空からの調査によると、福德岡ノ場付近から北方に帯状に伸びる長さ約9,000m、幅約700mの薄い緑色変色水が確認された。福德岡ノ場周辺で変色水が確認されたのは3月9日以来である。

● 阿蘇山 [熱・土砂噴出・微動・地震] レベル3 (小規模噴火の可能性) →レベル2 (やや活発な火山活動)

期間中、噴火は観測されなかった。

阿蘇山測候所が12日及び17日に実施した現地観測によると、中岳第一火口内の状況は、前期間と比べ大きな変化はなかった。湯だまりの状況は、引き続き色は灰色、量は約2割で、表面温度も72～74℃と依然高い状態であった(前期間は75～77℃)。湯だまり内では、中央部付近で高さ約5m、その他数ヶ所で高さ2～3mの土砂噴出が観測された。

火山性連続微動は引き続き期間を通して継続した。振幅に特に変化はなかった。孤立型微動の発生回数は1,027回で前期間(819回)より増加し、やや多い状態であった。火山性地震の発生回数は77回で特に変化はなかった(前期間は61回)。

噴煙活動、地殻変動等その他の観測データには特段の変化はなかった。

13日に火山活動度レベルを3(小規模噴火の可能性)から2(やや活発な火山活動)に変更した(前号参照)。

◆ 霧島山 御鉢：レベル2（やや活発な火山活動）・新燃岳：レベル1（静穏な火山活動）

今期間、監視カメラによる観測では、御鉢火口の噴気は観測されなかった。地震活動等その他の観測データにも特に変化はなかった。

◇ 桜島 レベル2（比較的静穏な噴火活動）

期間中、噴火は観測されなかった。地震活動等その他の観測データにも特に変化はなかった。

◇ 薩摩硫黄島 レベル2（やや活発な火山活動）

地震活動、噴煙活動等の観測データには特段の変化はなかった。

◇ 口永良部島 レベル2（やや活発な火山活動）

地震活動、噴煙活動等の観測データには特段の変化はなかった。

◇ 諏訪之瀬島 レベル3（小規模な噴火の可能性）

期間中、噴火は観測されなかった。地震活動、噴煙活動等の観測データにも特段の変化はなかった。

表2 火山情報発表状況

火山名	情報の種類及び号数	発表日時	概要
浅間山	火山観測情報第135号 ↓（1日1回発表）	12日16:00 ↓	前日及び当日00時～15時の活動状況（噴火はなし、噴煙・火映・地震・微動・地殻変動の状況及び上空の風の予想）。レベルは3。
	火山観測情報第141号	18日16:00	
三宅島	火山観測情報第261号 ↓（1日2回発表）	12日09:30 ↓	前日15時～当日09時もしくは当日09～15時の活動状況、及び上空の風の予想。
	火山観測情報第272号	17日16:30	
	火山観測情報第273号	18日09:40	18日02時41分頃ごく小規模な噴火発生。前日15時～当日09時の活動状況、及び上空の風の予想。
	火山観測情報第274号	18日16:30	当日09～15時の活動状況、及び上空の風の予想。
阿蘇山	火山観測情報第25号	13日15:00	レベルを3から2に変更。小規模噴火の可能性は低くなる。